



コツコツ とこどん



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

R3秋田県学習状況調査結果②

太中生の総合的学力の状況は？

秋田県学習状況調査では、生徒の勉強への意識や考え方、生活状況等についても、生徒質問紙で調査が行われました。今号では、本校生徒の勉強についての意識をお知らせします。なお、本校の調査生徒数は学年ごとに30~45人程度のため、1人の回答が2%~3%強に当たり、1人の回答が左右する数値は県平均よりもかなり大きくなっています。

勉強が好きだ				
1年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	18.6	46.5	27.9	7.0
県差	○○			
課題	勉強が好きと思う生徒をもっと増やしたい			
2年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	0.0	61.3	29.0	9.7
県差	○			
課題	勉強をとてもしよきとな生徒を増やしたい 38.7%の勉強を嫌いな生徒を減らしたい			

勉強は大切だ				
1年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	72.1	27.9	0.0	0.0
県差	○			
課題	全員の回答が当てはまるにしたい			
2年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	80.6	16.1	3.2	0.0
県差	○			
課題	全員の回答が当てはまるにしたい			

学校の勉強がよく分かる				
1年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	27.9	62.8	7.0	2.3
県差	○			
課題	全員が分かるとう答する授業の実施			
2年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	16.1	64.5	16.1	3.2
県差	●			
課題	全員が分かるとう答する授業を実施する 約20%の分からない生徒を解消したい			

ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい				
1年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	58.1	39.5	2.3	0.0
県差	○			
課題	将来に生きる勉強との意識を高めたい			
2年%	当てはまる	どちらかといえば0	どちらかといえばX	当てはまらない
太田中	45.2	48.4	6.5	0.0
県差	-			
課題	将来に生きる勉強との意識を高めたい			

「勉強」全体についての質問項目について、「学校の勉強がよく分かる」という質問項目への2年生の回答が芳しくありません。これは私たち教員の授業への回答と理解しておりますので、早急に改善に取り組みます。その他、1年生と2年生には大きな差は見られませんが、この四つの質問項目で「当てはまる」という最も肯定的な回答が多くなり、否定的な回答が少なくなることが本校の学習上の課題改善には必要不可欠なことであると考えています。

この4項目の質問は関わりが大きく、特に、「勉強が好き」と「勉強が分かる」は、密接な関係があります。本校の生徒は、好きな教科の勉強には意欲的、積極的に取り組む姿が多くあり、教科への好意反応は正答率にも大きく関わってくると捉えています。「勉強は大切だ」「将来に役立つよう勉強したい」と思っている生徒が、勉強の楽しさと分かる喜びを体得し、「学校の勉強がよく分かる」の肯定的回答がより多くなるように、授業を工夫して好きな教科を増やし、学習意欲を高めるとともに、一人一人の生徒にきめ細やかに分かるように指導していくことを全教員が認識し、そのための方向性を次のように確認しています。

生徒質問紙には、秋田県が目指す授業の姿（目標⇒話し合い・発表⇒まとめ・振り返りのサイクル）の実現に向けた、次のような質問もあります。

- 『授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいるか』
- 『授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいるか』
- 『授業では、友達と話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができているか』
- 『授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか』
- 『授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使用しているか』
- 『学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使用しているか』

これらの質問のほとんどで県平均を上回っていますが、1・2年生共に『分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる』への回答が県平均を下回り、学びを継続させる活動の充実が課題と捉えています。そのため、『学習内容の定着・次の学びへの意欲付けのための振り返りや必要感をもたせる活動や時間』を確実に設け、目指す授業サイクルを一層推進・徹底させ、教科への好意反応を高め、正答率の向上につなげるべく取り組んでまいります。